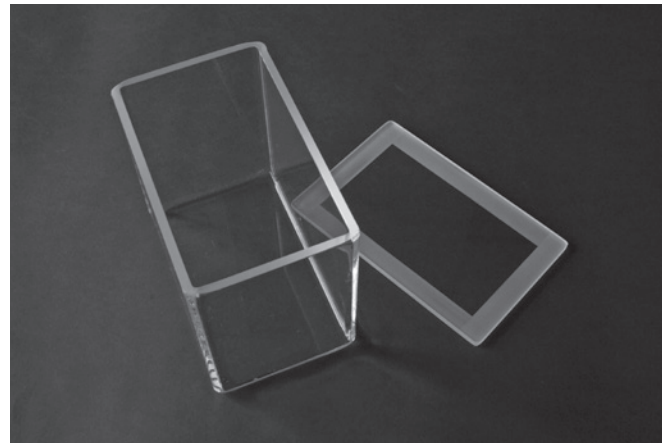
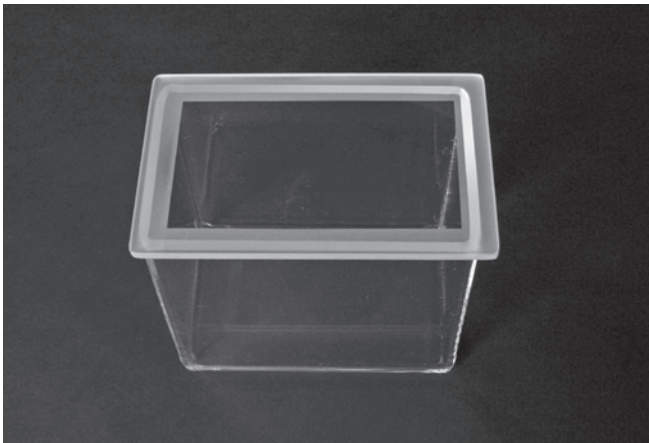


それぞれ用途に応じたガラス器具を製作致します。
 大型クラスでは、フラスコ容量100ℓのガラス製または、SUS製のプラント装置。
 小は針状のガラス管加工(石英も含む)まで巾広く実験のニーズをサポートします。
 またガラスだけではなくSUS、鉄、アルミなど金属及びフッ素樹脂系の加工、組立も行なっておりますのでご相談下さい。



※写真は製作参考例です。

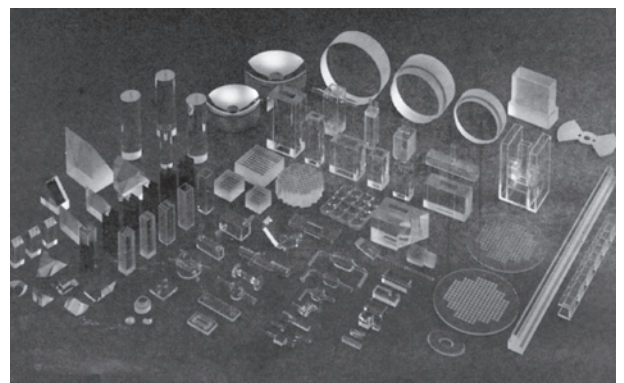


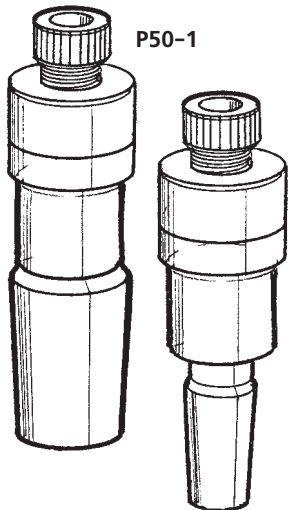
角形バットの形状は実験目的により形状、寸法が多様なので実験家各位より略図、寸法を御指示いただき、それによりお見積いたします。
 製作可能な大きさは550×550×550mmまででガラス板の厚さは3~5mmを限度といたします。その他変形ガラス板熔着バットも御相談下さい。

※写真は製作参考例です。

化学実験用ガラス製品として、このカタログに多く見られる熱加工製品(一般にガラス細工、又はランプワーク)の他冷間での研磨、研削による製品があります。代表的なものとして分析用光学セルがありますがその他下記写真にあるようなさまざまな製品があります。又、実験の用途により実験家各位が御考案の形状の必要が生ずることと思います。当社業務の対象はあくまで実験が主なので、それらの御要望にお応えできるように製作数は一個よりお引受いたします。形状については製作の可、不可がありますが種々製法を考え貴実験にお役に立つようと思っておりますので、その様な折には御相談下さい。

●加工製品例	<ul style="list-style-type: none"> ・光学用セル ・レンズ ・プリズム ・フィルター ・宇宙実験用特殊ガラス容器 ・耐圧用窓板 ・耐熱容器 ・耐圧シリンダー ・燃焼用パイプ ・圧力センサー用ガラス台座 ・CO2レーザー放電管 ・ライトガイド ・石英ノズル ・ガラスドラム ・真空ピンセット ・センサー用液体セル ・シリンジ(ガラス、ダイフロン) ・マイクロチューブ ・金属、樹脂ホルダー(セル、レンズ、プリズム用) ・高純度シリコン加工品(半導体用ボート等)
●加工方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平面光学研磨 ・R面研磨 ・ガス加工 ・真空成型 ・センターレス(研削、研磨) ・円筒研削 ・円筒内径研磨 ・真空蒸着 ・レーザー加工 ・超音波加工(孔あけ、溝切り、切断) ・NC加工(孔あけ、溝切り、ザグリ) ・サンドブラスト加工(孔あけ、溝切り、ザグリ) ・溶着 ・融着 ・接着
●加工材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス ・合成光学結晶 ・金属 ・樹脂

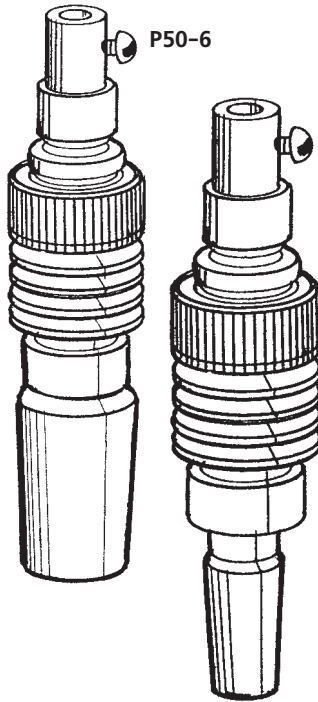




P50-1 テフロン可動式シール

Joint Size 適合攪拌棒φ	φ15 25	φ19 38	φ29 42
Catalogue No.	8φ	9φ	9φ
P50-1-1	¥11,000		
-2		¥13,500	
-3			¥18,000

外気を遮断して攪拌する攪拌棒の軸受です。減圧での使用ができます。但し内圧がプラスのときには使用できません。使用例は55-1・57・59頁にあります。



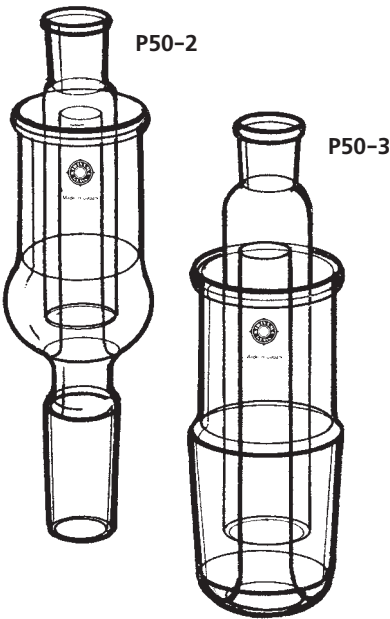
P50-6 チタン可動式シール

Joint Size 適応攪拌棒φ	φ19 38	φ29 42
Catalogue No.	9φ	9φ
P50-6-1	¥70,000	
-2		¥75,000

P50-4 攪拌棒

Joint Size 攪拌棒φ	9φ	8φ	8φ
Catalogue No.	L=500mm	L=400mm	L=400mm
P50-4-1	¥4,500		
-2		¥4,500	
-3			¥5,500

-1は下表の攪拌片と組合わせて使います。
-2は55頁AB55-1の装置専用のものです。
-3は同頁AB55-2等に用います。



外気を遮断して攪拌する攪拌棒の軸受です。減圧での使用ができます。但し内圧がプラスのときには使用できません。使用例は55-1・57・59頁にあります。

P50-2 水銀シール

Joint Size 攪拌棒φ	φ15 25	φ19 38	φ29 42
Catalogue No.	8φ	8~9φ	
P50-2-1	¥5,500		
-2		¥6,500	
-3			¥9,000

P50-3 水銀シール

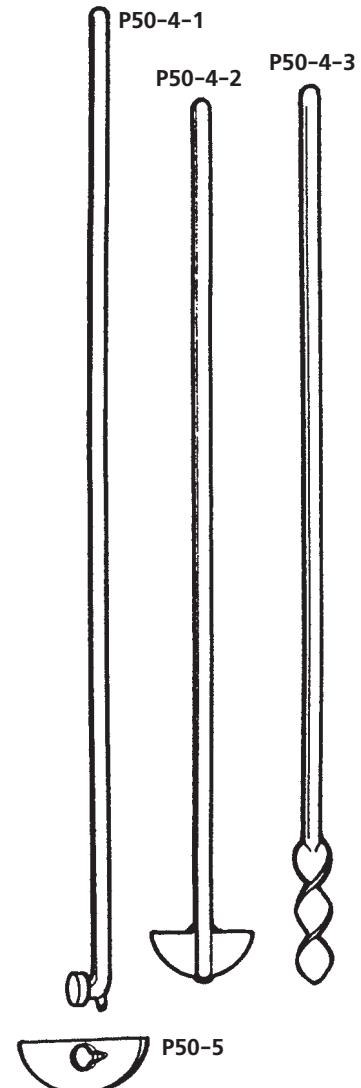
Joint Size 攪拌棒φ	φ29 42	φ45 50
Catalogue No.		
P50-3-1	¥9,800	
-2		¥12,600
-3		

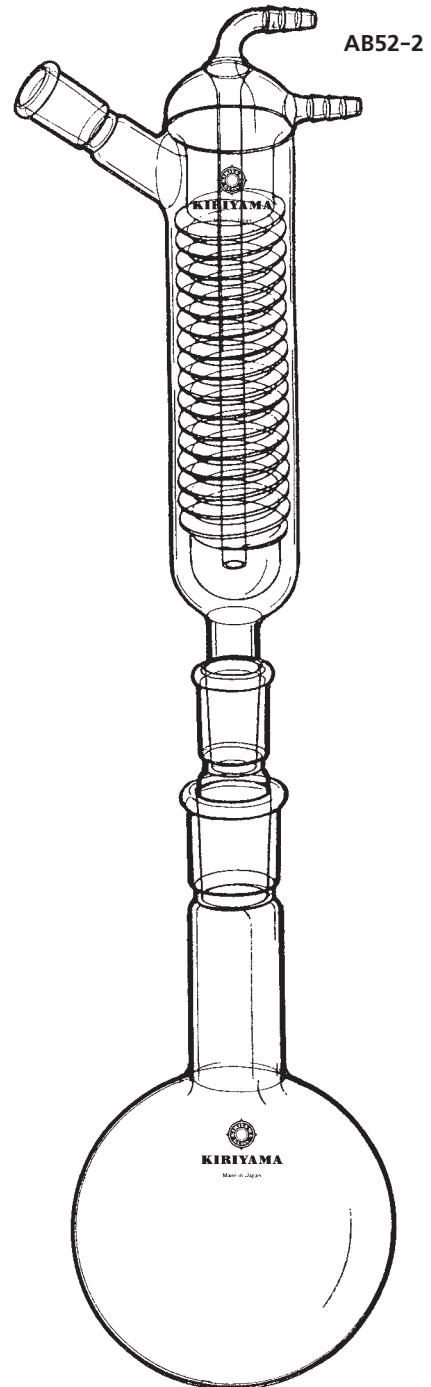
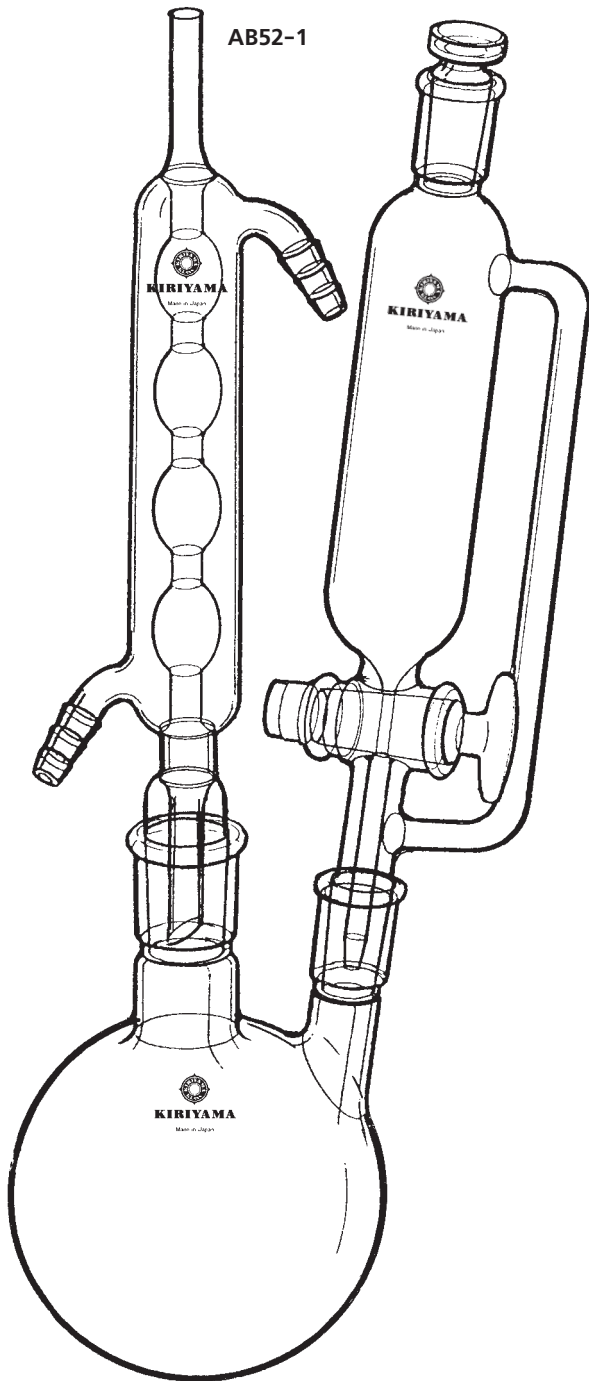
常圧での攪拌用軸受で、水銀やトルオール等を密閉液とします。

P50-5 攪拌片

羽φ Size	50mmφ	60mmφ	75mmφ
Catalogue No.			
P50-5-1	¥2,000		
-2		¥2,200	
-3			¥2,500

上記P50-4-1攪拌棒と併せて使います。使用例は54-B・57・58・59頁等にありますが。





AB52-1 反応装置

Joint Size 攪拌棒φ	φ15 25	φ29 42	φ19 38	φ29 42	PRICE
Catalogue No.					
AB52-1-1	500ml				¥46,000
-2			1000ml		¥50,000

仕様

Catalogue No.			AB52-1	
部品	数	コード	-1	-2
二口フラスコ	1	10A	F10-1-4	F10-1-11
玉入冷却器	1	37	C37-2-1	C37-2-2
等圧滴下ロート	1	83	FU83-1-2	FU83-1-4

試料の添加を行なって反応を行なうかんたんな装置です。
滴下ロートは等圧形となっています。

AB52-2 反応分解装置

Joint Size	φ19 38	φ29 42	φ19 38	φ29 42	PRICE
Catalogue No.					
AB52-2-1	500ml				¥41,000
-2			1000ml		¥41,500

仕様

Catalogue No.			AB52-2	
部品	数	コード	-1	-2
フラスコ	1	7	F7-1-1	F7-1-2
アブザツ	1	26B	A26-1-6	A26-1-6
冷却器	1	39	C39-1-2	C39-1-2

有機物の酸による分解、その他加熱しての反応等に用います。

AB54-1 ランキン法反応蒸留装置

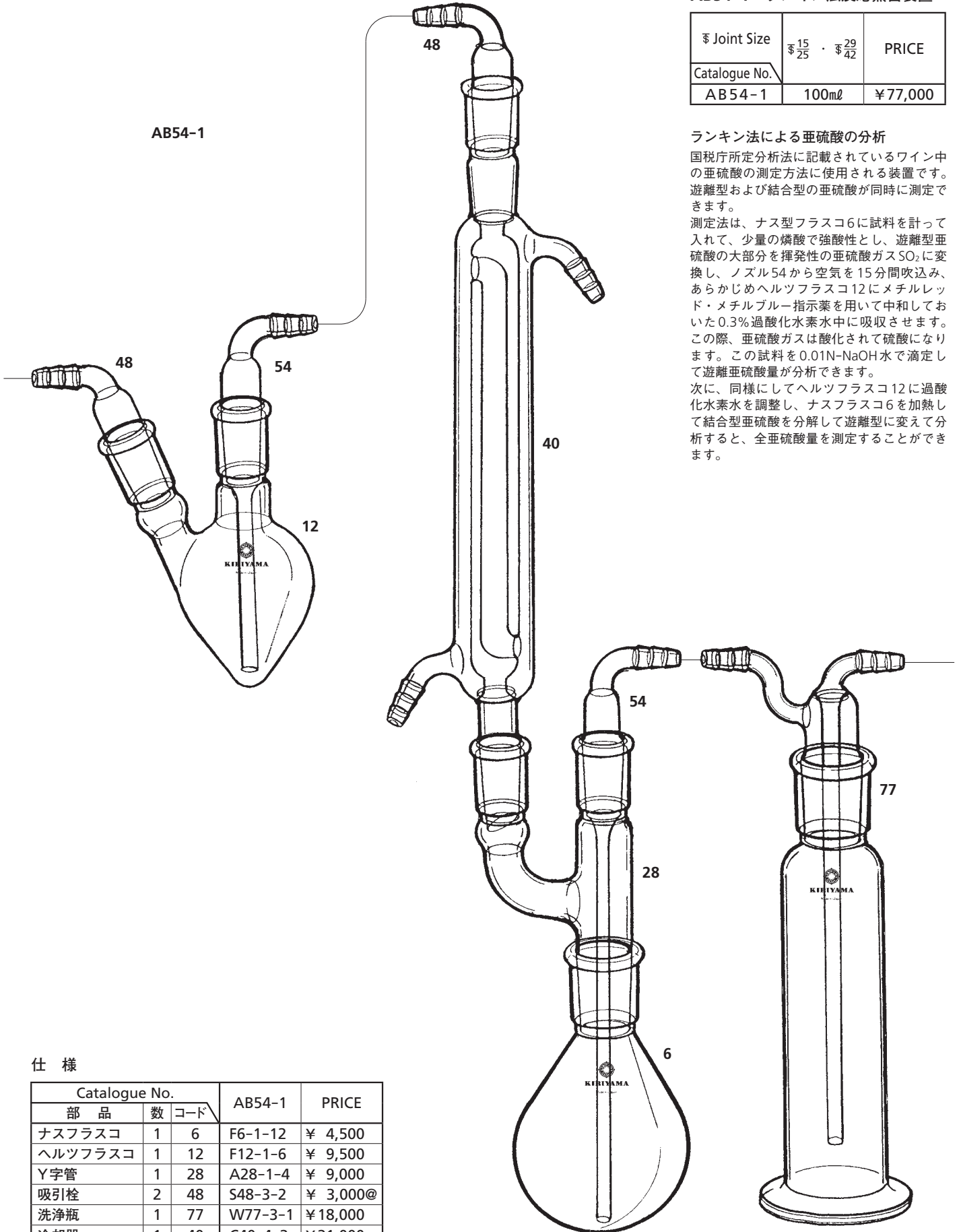
Joint Size	φ15 ₂₅ · φ29 ₄₂	PRICE
Catalogue No.	AB54-1	100ml
		¥77,000

ランキン法による亜硫酸の分析

国税庁所定分析法に記載されているワイン中の亜硫酸の測定方法に使用される装置です。遊離型および結合型の亜硫酸が同時に測定できます。

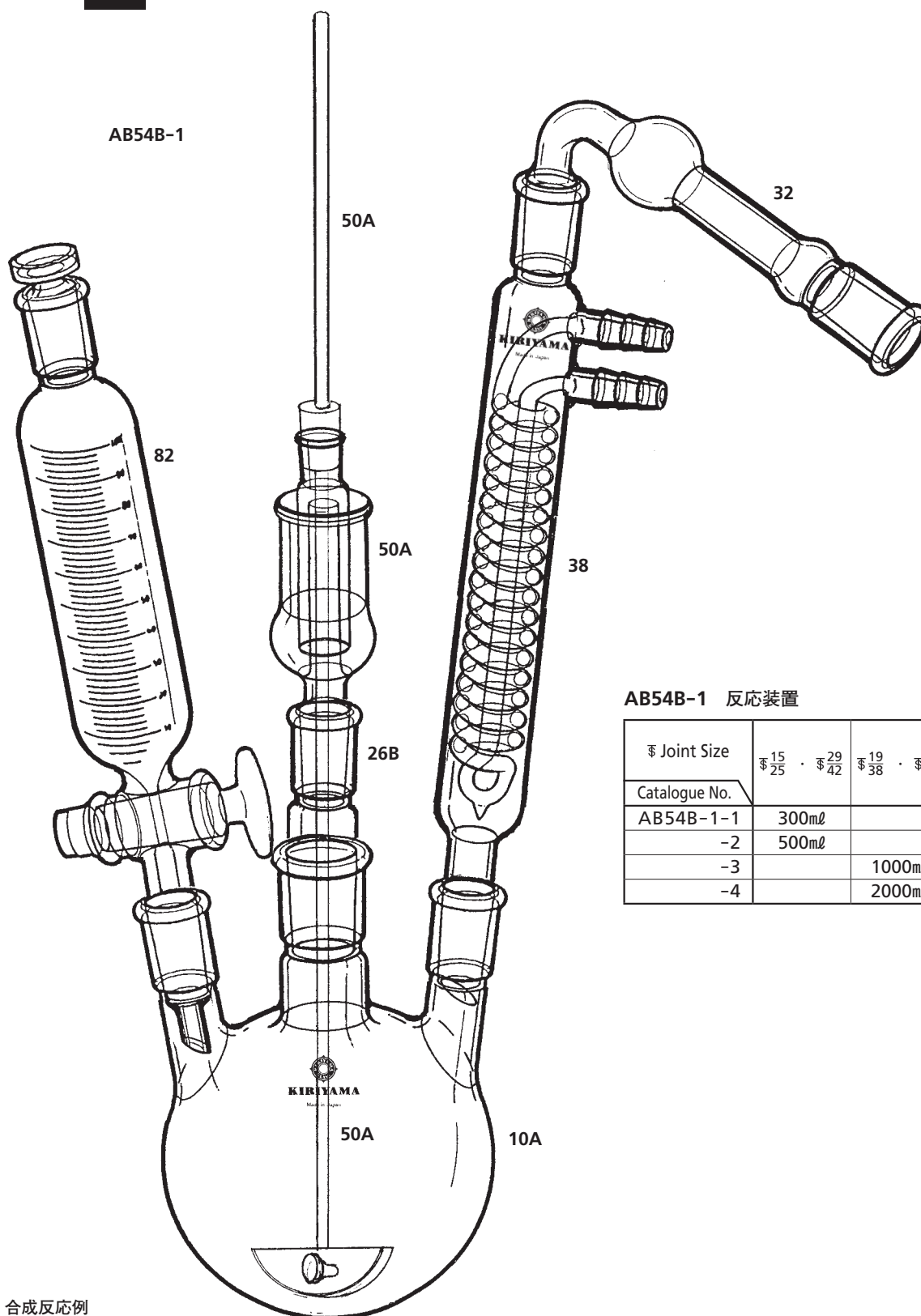
測定法は、ナス型フラスコ6に試料を計って入れて、少量の磷酸で強酸性とし、遊離型亜硫酸の大部分を揮発性の亜硫酸ガスSO₂に変換し、ノズル54から空気を15分間吹込み、あらかじめヘルツフラスコ12にメチルレッド・メチルブルー指示薬を用いて中和しておいた0.3%過酸化水素水中に吸収させます。この際、亜硫酸ガスは酸化されて硫酸になります。この試料を0.01N-NaOH水で滴定して遊離亜硫酸量が分析できます。

次に、同様にしてヘルツフラスコ12に過酸化水素水を調整し、ナスフラスコ6を加熱して結合型亜硫酸を分解して遊離型に変えて分析すると、全亜硫酸量を測定することができます。



仕様

Catalogue No.			AB54-1	PRICE
部品	数	コード		
ナスフラスコ	1	6	F6-1-12	¥ 4,500
ヘルツフラスコ	1	12	F12-1-6	¥ 9,500
Y字管	1	28	A28-1-4	¥ 9,000
吸引栓	2	48	S48-3-2	¥ 3,000@
洗浄瓶	1	77	W77-3-1	¥18,000
冷却器	1	40	C40-4-2	¥21,000
インピンジャー	1	54	W54-100	¥ 6,600
"	1	54	W54-50	¥ 6,000



AB54B-1 反応装置

Joint Size	φ15 25		φ29 42		PRICE
	φ19 38	φ29 42	φ19 38	φ29 42	
Catalogue No.					
AB54B-1-1	300ml				¥73,500
-2	500ml				¥75,500
-3			1000ml		¥79,000
-4			2000ml		¥86,500

合成反応例

アルドール縮合反応

反応フラスコに1M濃度の水酸化ナトリウム水溶液750mlを80℃に加熱し、攪拌しながらブチルアルデヒド2520gを1.5時間かけて滴下します。滴下終了後1時間そのまま加熱還流します。反応終了後、室温まで冷却して有機層を分離し、減圧下で分留すると目的物2-エチル-2-ヘキセナール1880gが得られます。



ブチルアルデヒド

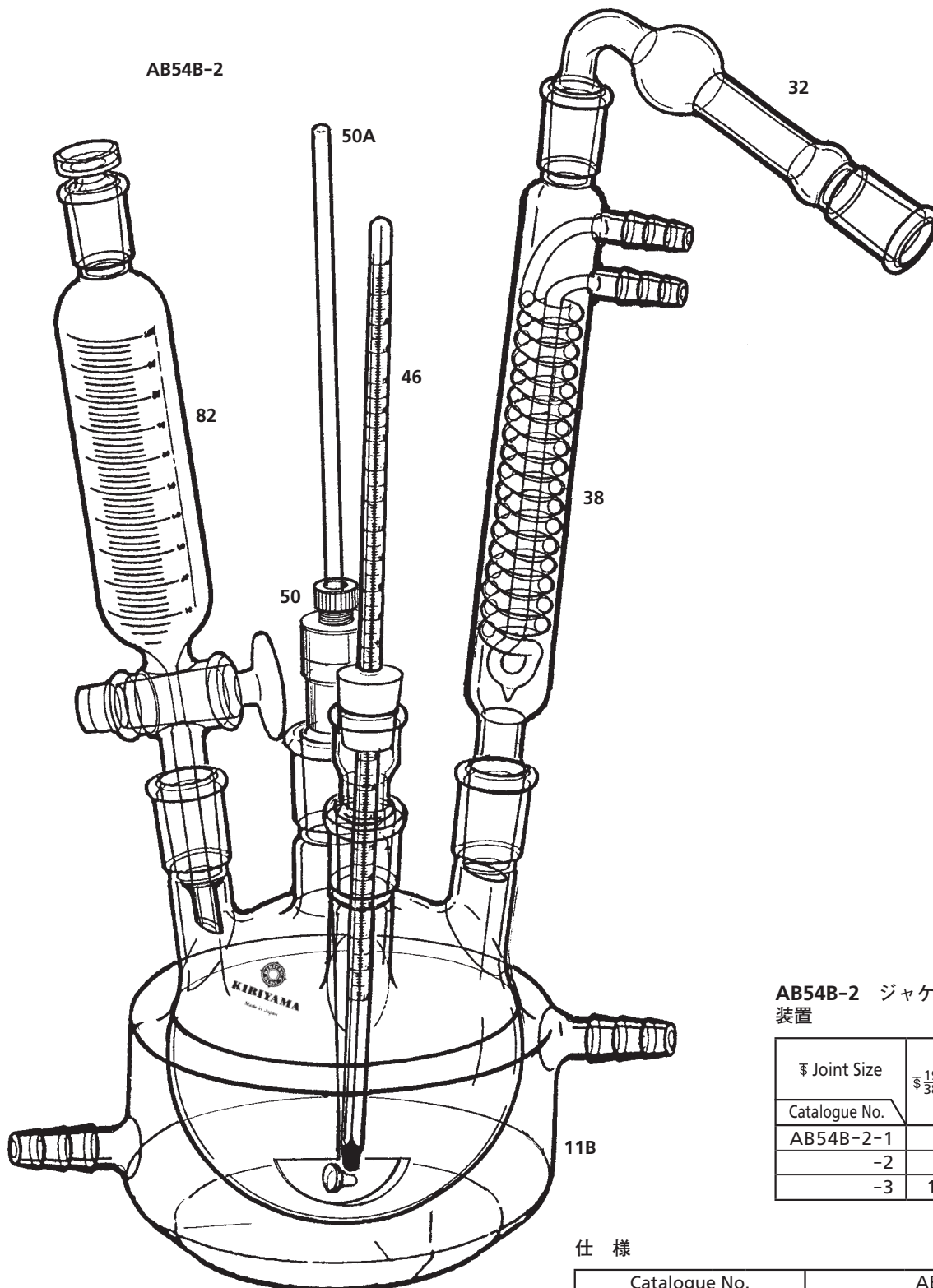
2-エチル-2-ヘキセナール

引用文献：新実験化学講座14 [II]、丸善出版刊、P.738

本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。

仕様

Catalogue No.		AB54B-1				
部 品	数	コード	-1	-2	-3	-4
三口フラスコ	1	10A	F10-2-3	F10-2-4	F10-2-10	F10-2-11
アダプタ	1	26B	A26-1-6	A26-1-6	A26-1-6	A26-1-6
水銀シール	1	50A	P50-2-2	P50-2-2	P50-2-2	P50-2-2
攪拌棒	1	50A	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1
攪拌片	1	50A	P50-5-1	P50-5-2	P50-5-2	P50-5-3
滴下ロート	1	82	FU82-2-4	FU82-2-4	FU82-2-7	FU82-2-8
冷却器	1	38	C38-1-3	C38-1-3	C38-1-7	C38-1-8
カルシウム管	1	32	A32-1-2	A32-1-2	A32-1-3	A32-1-3



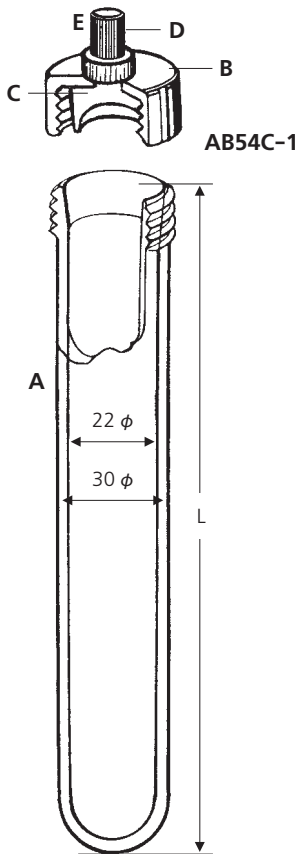
AB54B-2 ジャケット付フラスコ反応装置

Joint Size	φ ₁₉ / ₃₈ · φ ₂₉ / ₄₂	PRICE
Catalogue No.		
AB54B-2-1	300ml	¥140,000
-2	500ml	¥147,000
-3	1000ml	¥190,000

仕様

Catalogue No.		AB54B-2			
部品	数	コード	-1	-2	-3
マントルフラスコ	1	11B	F11B-3-4	F11B-3-5	F11B-3-6
滴下ロート	1	82A	FU82-2-6	FU82-2-7	FU82-2-8
カルシウム管	1	32	A32-1-3	A32-1-3	A32-1-3
温度計	1	46	TM46-3-8	TM46-3-8	TM46-3-8
冷却器	1	38	C38-1-7	C38-1-7	C38-1-8
攪拌棒	1	50	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1
テフロンシール	1	50	P50-1-3	P50-1-3	P50-1-3
攪拌片	1	50	P50-5-1	P50-5-1	P50-5-2

本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。



AB54C-1 耐圧反応管(ボンベンロール)

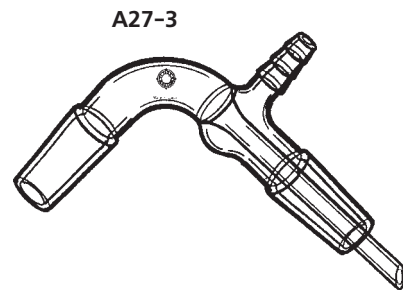
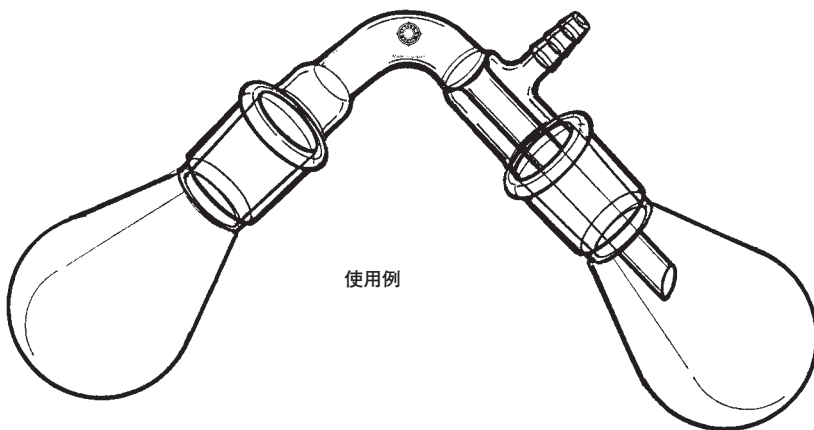
Size	ネジ	管内径×長さ φ×L	PRICE
Catalogue No.			
AB54C-1-1	22・8	22×200	¥29,000
-2	〃	22×250	¥31,000
-3	〃	22×300	¥32,000

仕様

Catalogue No.			AB54C-1			PRICE
部 品	数	コード	-1	-2	-3	
ガラス管 200mm	1	A	54C-A200			¥13,500
250mm	1	A		54C-A250		¥14,600
300mm	1	A			54C-A300	¥15,600
キャップ	1	B	54C-B			¥6,000
密用栓	1	C	54C-C			¥6,800
丸ナット	1	D	54C-D			¥1,800
ストッパー	1	E	54C-E			¥2,900

この反応管は加圧を必要とする場合に用います。ただし加圧反応は大変あぶないので管の洗滌等にはブラシの針金があたらないようにして下さい。加熱は水浴、砂浴、油浴等で行ないますが、まわりに防へきをつくる等対策をお考え下さい。反応終了後開栓する場合には、先ずDの栓をゆるめ内圧をぬいてからにして下さい。

使用可能圧力は約7kg/cm²です。



A27-3 反応処理管

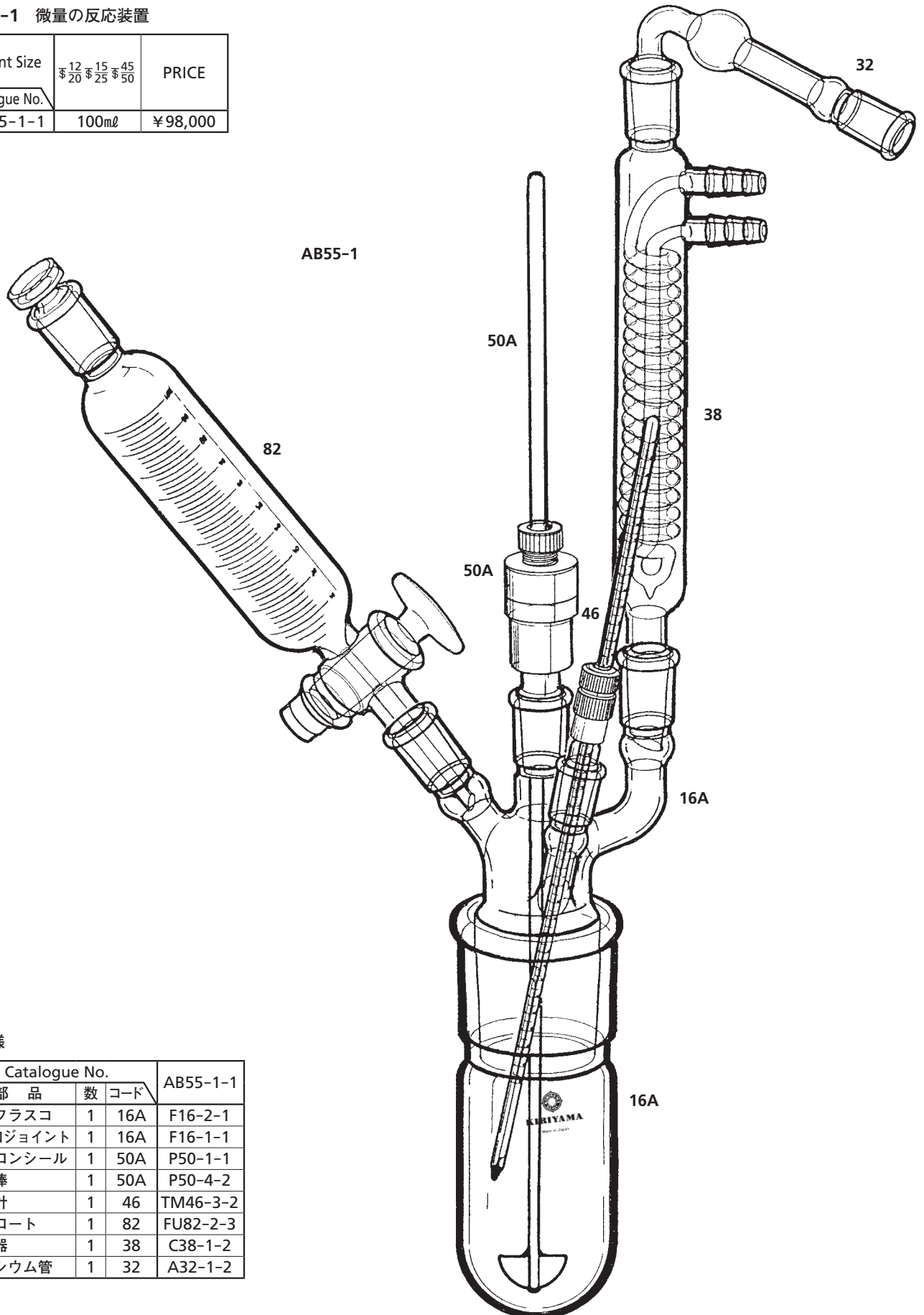
Joint Size	φ15 ₂₅ ・φ15 ₂₅	φ19 ₃₈ ・φ19 ₃₈	φ29 ₄₂ ・φ29 ₄₂
Catalogue No.			
A27-3-1	¥12,000		
-2		¥13,000	
-3			¥16,000

反応により塩などが生成し、目的とするものの蒸留が分解やとっぶつの心配で行なえない時に用います。左側は反応フラスコで、右側のフラスコをジュワー瓶に入れた寒剤で冷し減圧にすると右側フラスコ内に液化してたまります。右側のフラスコはそのまま蒸留の容器として用います。主に物が少量のとき、水分にたいして分解しやすいときなどに御使用下さい。

※表示価格にはフラスコは含まれません。

AB55-1 微量の反応装置

Joint Size	12 15 45 20 25 50	PRICE
Catalogue No.	AB55-1-1	100ml ¥98,000



仕様

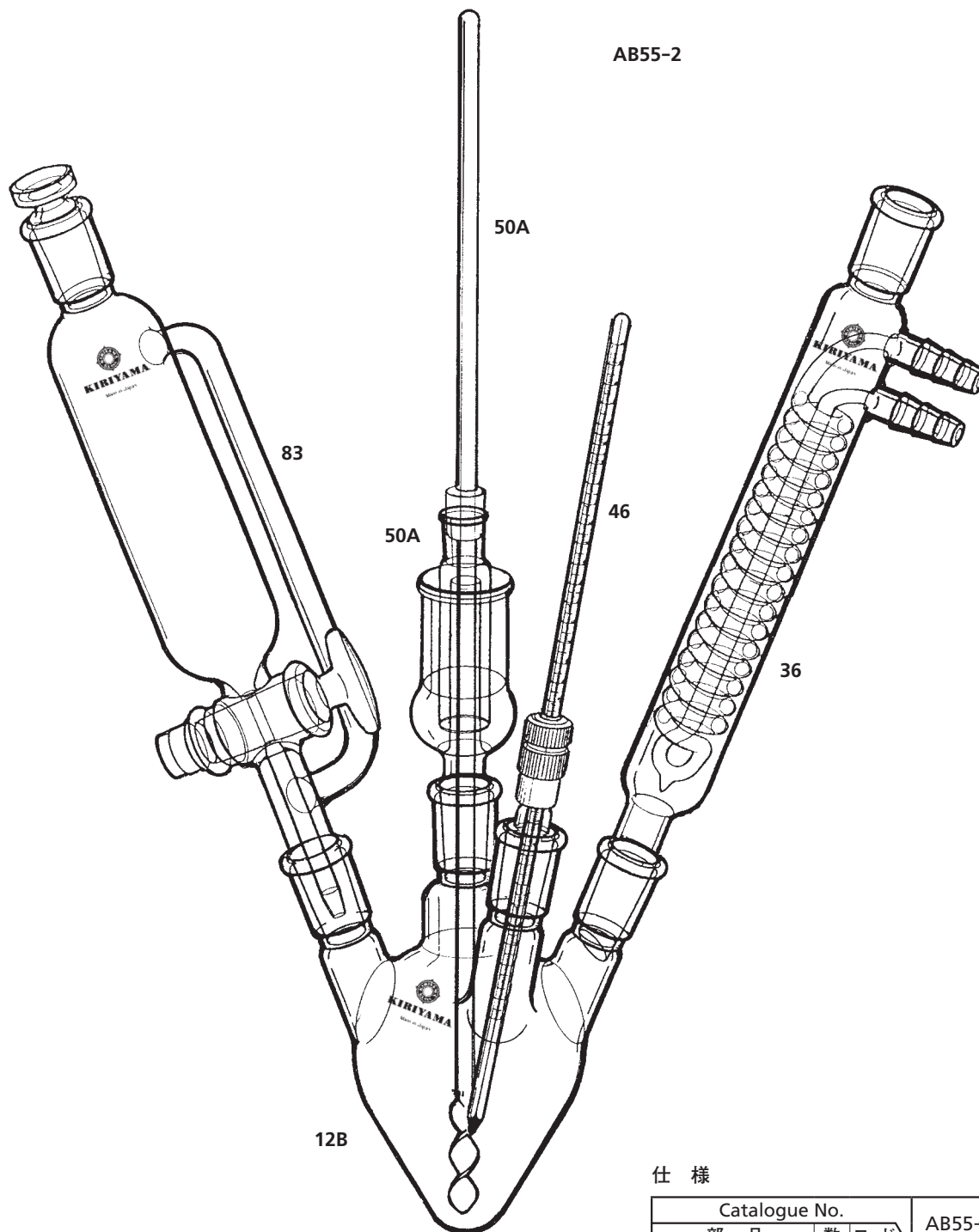
Catalogue No.			AB55-1-1
部品	数	コード	
円筒フラスコ	1	16A	F16-2-1
四ツジョイント	1	16A	F16-1-1
テフロンシール	1	50A	P50-1-1
攪拌棒	1	50A	P50-4-2
温度計	1	46	TM46-3-2
滴下ロート	1	82	FU82-2-3
冷却器	1	38	C38-1-2
カルシウム管	1	32	A32-1-2

これらの装置は微量の反応や粘性のある物の反応に用いられます。たとえば装飾したいポリマーを溶媒に膨潤させ、フラスコに仕込みます。よく攪拌したところで滴下ロートで試薬を加えます。

本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。

AB55-2 ヘルツ型微量反応装置

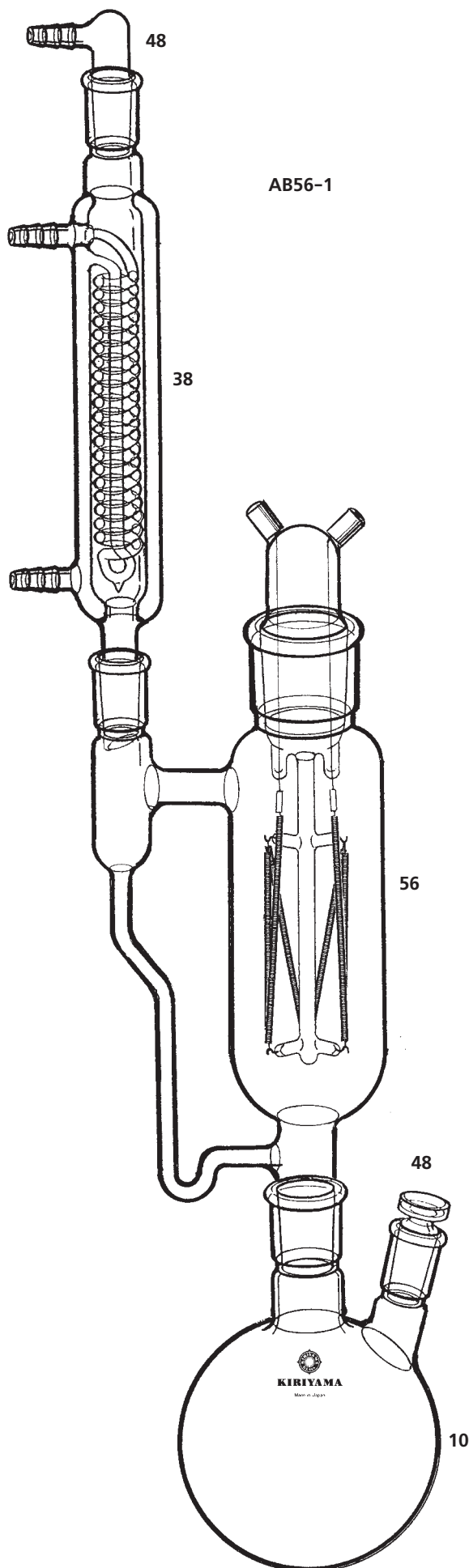
Joint Size	15 25	PRICE
Catalogue No.	AB55-2-1	50ml
		¥62,500



仕様

Catalogue No.			AB55-2-1
部品	数	コード	
四ッロヘルツフラスコ	1	12B	F12-3-1
水銀シール	1	50A	P50-2-1
攪拌棒	1	50A	P50-4-3
温度計	1	46	TM46-3-5
滴下ロート	1	83	FU83-1-1
冷却器	1	36	C36-2-2

本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。



AB56-1

AB56-1 ケテンランプの装置

Joint Size	φ ₁₉ / ₃₈ · φ ₂₉ / ₄₂	PRICE
Catalogue No.	AB56-1	1000mℓ
		¥326,000

アセトンの熱分解によるケテンの発生装置です。

仕様

Catalogue No.			AB56-1	PRICE
部品	数	コード		
二口フラスコ	1	10	F10-1-11	¥ 14,000
冷却器	1	38	C38-2-4	¥ 27,000
吸引栓	1	48	S48-3-3	¥ 3,200
平栓	1	48	S48-1-3	¥ 1,800
ケテンランプ	1	56	AB56-A	¥280,000

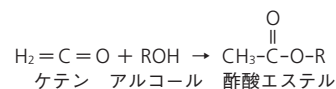
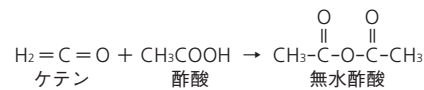
ケテンガス発生操作法

フラスコ10にアセトンを適量仕込み、アセトンを加熱還流させて、アセトン蒸気で反応管56から空気を完全に追出します。5分後にニクロム線56を加熱し、線が小豆色になると(700~750℃)、ケテンガスが発生し、ガス出口48からエチレン、一酸化炭素、メタンガスとともにケテンガスが得られます。この温度以上にすると黒煙が発生するので、温度を注意深く保つ必要があります。

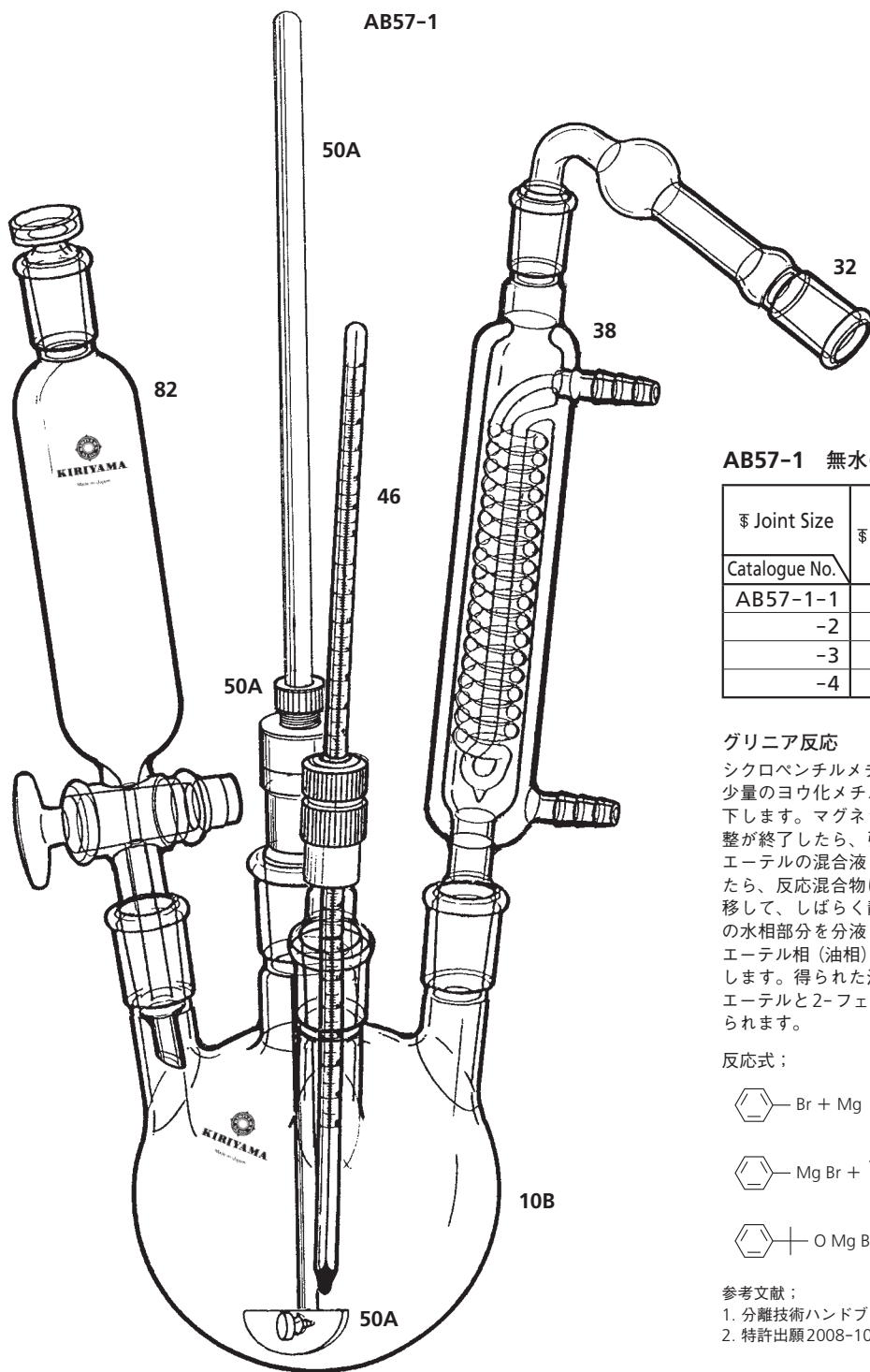
ケテンガスは沸点-56℃の猛毒の気体なので、フード中で取扱う必要があります。

有機合成反応において、一般的にケテンガスはアセチル化剤として使用されます。

例えば、ケテンは酢酸またはアルコールと反応させると、無水酢酸、酢酸エステルが合成できます。



本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。

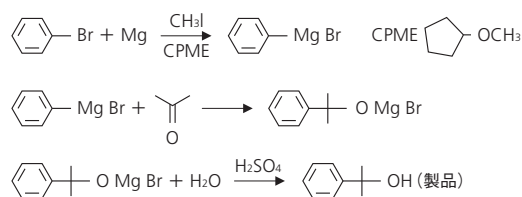

AB57-1 無水の反応等の装置

Joint Size	¥15 25		¥29 42		PRICE
	¥19 38	¥29 42			
Catalogue No.					
AB57-1-1	300ml				¥ 98,000
-2	500ml				¥ 99,000
-3			1000ml		¥ 108,000
-4			2000ml		¥ 114,000

グリニア反応

シクロペンチルメチルエーテル (溶剤) にマグネシウム粉末と少量のヨウ化メチルを加え、攪拌しながら臭化ベンゼンを滴下します。マグネシウムが完全に溶解してグリニア試薬の調整が終了したら、引き続きアセトンとシクロペンチルメチルエーテルの混合液を滴下します。グリニア縮合反応が終了したら、反応混合物に希塩酸を注ぎます。これを分液ロートに移して、しばらく静置すると、二層に分離しますので、下層の水相部分を分液して廃棄し、上層のシクロペンチルメチルエーテル相 (油相) に水を加えてよく攪拌し、再び静置、分液します。得られた油相を蒸留すると、シクロペンチルメチルエーテルと2-フェニル-2-プロパノール (製品) が収率良く得られます。

反応式：



参考文献：

1. 分離技術ハンドブック；p.386、分離技術会刊(2010)
2. 特許出願2008-10967

仕様

Catalogue No.		AB57-1				
部品	数	コード	-1	-2	-3	-4
四ツ口フラスコ	1	10B	F10-3-3	F10-3-4	F10-3-10	F10-3-11
テフロンシール	1	50A	P50-1-3	P50-1-3	P50-1-3	P50-1-3
攪拌棒	1	50A	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1
攪拌片	1	50A	P50-5-1	P50-5-1	P50-5-2	P50-5-3
温度計	1	46	TM46-3-5	TM46-3-5	TM46-3-8	TM46-3-8
滴下ロート	1	82	FU82-1-4	FU82-1-4	FU82-1-7	FU82-1-8
冷却器	1	38	C38-2-1	C38-2-1	C38-2-4	C38-2-4
カルシウム管	1	32	A32-1-2	A32-1-2	A32-1-3	A32-1-3

本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。

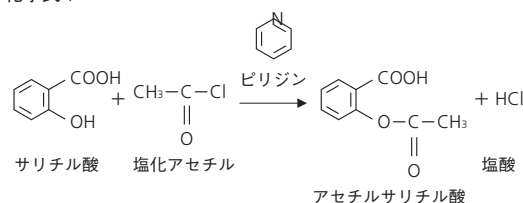
AB58-1 セパラブルフラスコでの反応装置

Joint Size	15	29	PRICE
	25	42	
Catalogue No.	75 φ		100 φ
AB58-1-1	300ml		¥ 102,000
-2	500ml		¥ 103,500
-3	1000ml		¥ 106,500
-4			1000ml ¥ 124,000
-5			2000ml ¥ 129,500

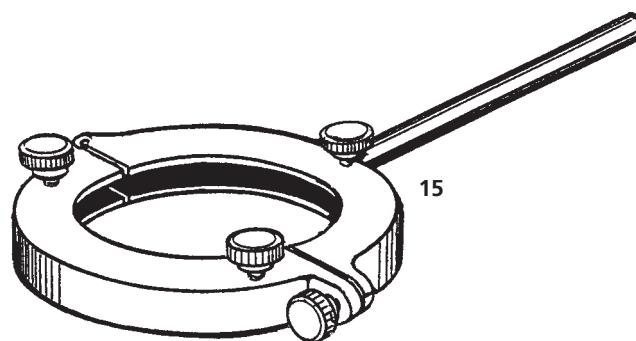
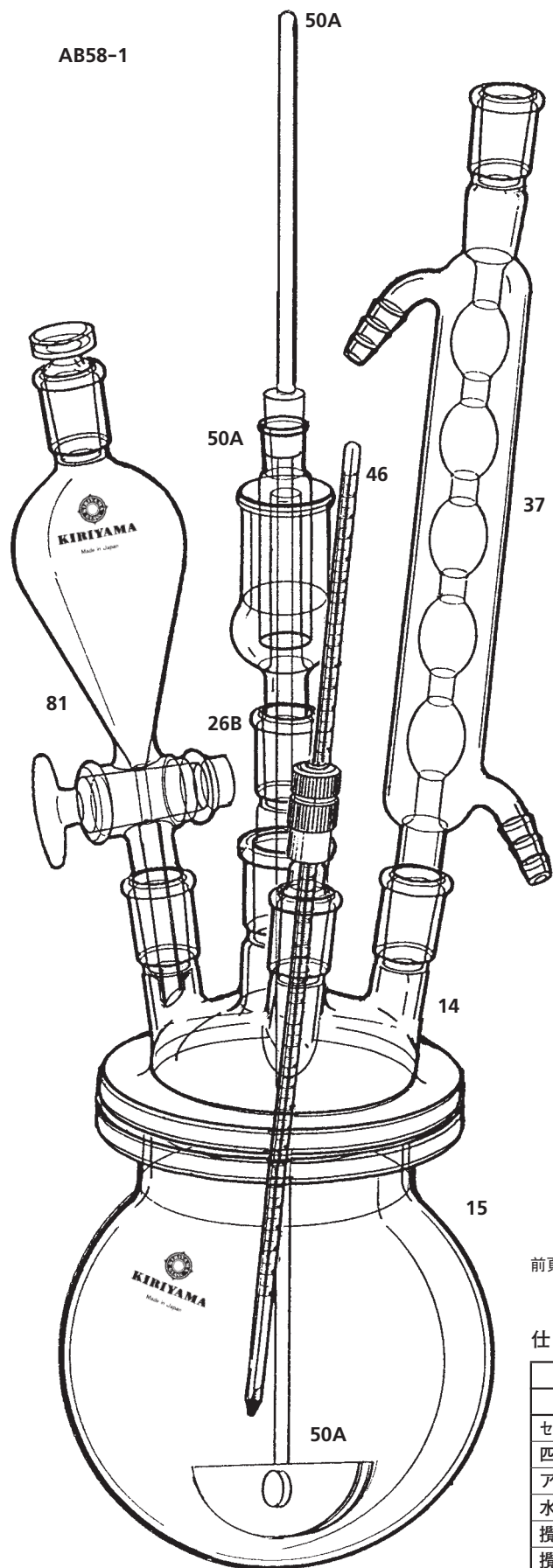
アセチル化反応

フラスコ中にピリジンを入れ、ここへサリチル酸を加えて溶解させます。激しく攪拌しながら、滴下ロートから塩化アセチルを徐々に滴下します。反応が進むと反応熱により液温が次第に上昇します。水浴で液温を50~60℃に調節しながらしばらく攪拌を続け、最後に反応液を沸騰湯浴中で5分間加熱して反応を完結させます。反応液を室温近くまで冷却し、冷水中に注ぐと、アセチルサリチル酸の結晶が析出していきます。結晶を吸引濾過したあと、圧搾してよく水を切ると湿潤結晶が得られます。結晶を酢酸水(1:1)から再結晶して乾燥すると無色のサリチル酸結晶が得られます。

化学式：



参考文献：
梅沢純夫、実験有機化学、丸善、p.142



前頁と同様ですが固体の生成する反応にはフラスコの口が大きいので便利です。

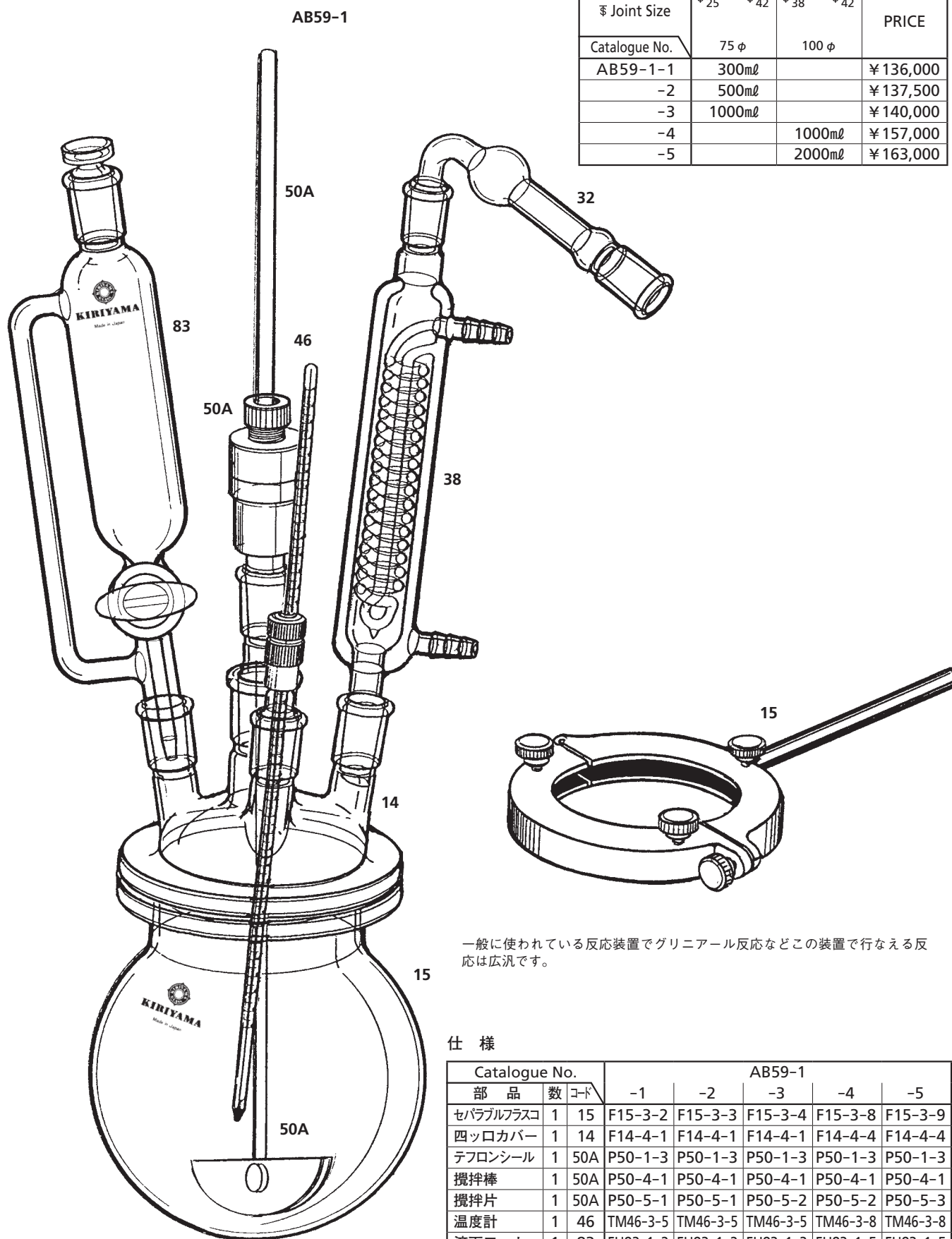
仕様

Catalogue No.			AB58-1				
部品	数	コード	-1	-2	-3	-4	-5
セパラブルフラスコ	1	15	F15-3-2	F15-3-3	F15-3-4	F15-3-8	F15-3-9
四ッロカバー	1	14	F14-4-1	F14-4-1	F14-4-1	F14-4-4	F14-4-4
アダプター	1	26B	A26-1-4	A26-1-4	A26-1-4	A26-1-6	A26-1-6
水銀シール	1	50A	P50-2-1	P50-2-1	P50-2-1	P50-2-2	P50-2-2
攪拌棒	1	50A	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1
攪拌片	1	50A	P50-5-1	P50-5-1	P50-5-2	P50-5-2	P50-5-3
分液ロート	1	81	FU81-2-2	FU81-2-2	FU81-2-3	FU81-2-5	FU81-2-5
冷却器	1	37	C37-1-3	C37-1-3	C37-1-4	C37-1-6	C37-1-6
止め金具	1	15	F15-1-1	F15-1-1	F15-1-1	F15-1-2	F15-1-2
温度計	1	46	TM46-3-5	TM46-3-5	TM46-3-5	TM46-3-8	TM46-3-8

本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。

AB59-1 セパラブルフラスコでの反応装置

Joint Size	φ15	φ29	φ19	φ29	PRICE
	25	42	38	42	
Catalogue No.	75 φ		100 φ		
AB59-1-1	300ml				¥136,000
-2	500ml				¥137,500
-3	1000ml				¥140,000
-4			1000ml		¥157,000
-5			2000ml		¥163,000



一般に使われている反応装置でグリニアル反応などこの装置で行なえる反応は広汎です。

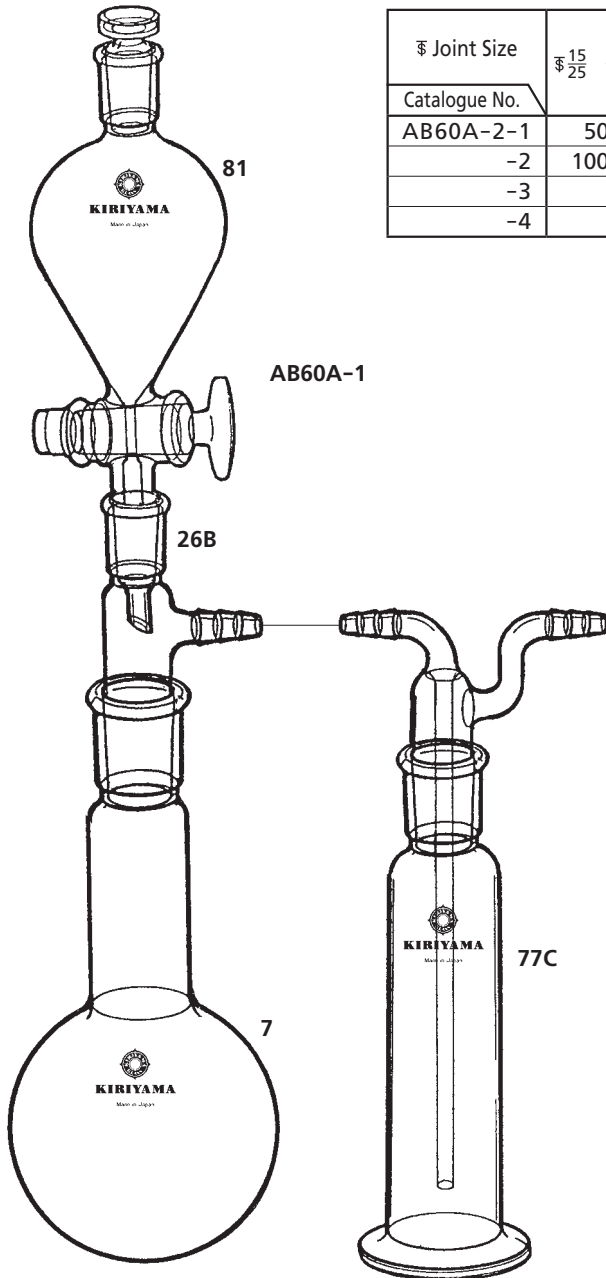
仕様

Catalogue No.			AB59-1				
部 品	数	コード	-1	-2	-3	-4	-5
セパラブルフラスコ	1	15	F15-3-2	F15-3-3	F15-3-4	F15-3-8	F15-3-9
四ッロカバー	1	14	F14-4-1	F14-4-1	F14-4-1	F14-4-4	F14-4-4
テフロンシール	1	50A	P50-1-3	P50-1-3	P50-1-3	P50-1-3	P50-1-3
攪拌棒	1	50A	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1	P50-4-1
攪拌片	1	50A	P50-5-1	P50-5-1	P50-5-2	P50-5-2	P50-5-3
温度計	1	46	TM46-3-5	TM46-3-5	TM46-3-5	TM46-3-8	TM46-3-8
滴下ロート	1	83	FU83-1-2	FU83-1-2	FU83-1-3	FU83-1-5	FU83-1-5
冷却器	1	38	C38-2-1	C38-2-1	C38-2-1	C38-2-4	C38-2-4
カルシウム管	1	32	A32-1-2	A32-1-2	A32-1-2	A32-1-3	A32-1-3
止め金具	1	15	F15-1-1	F15-1-1	F15-1-1	F15-1-2	F15-1-2

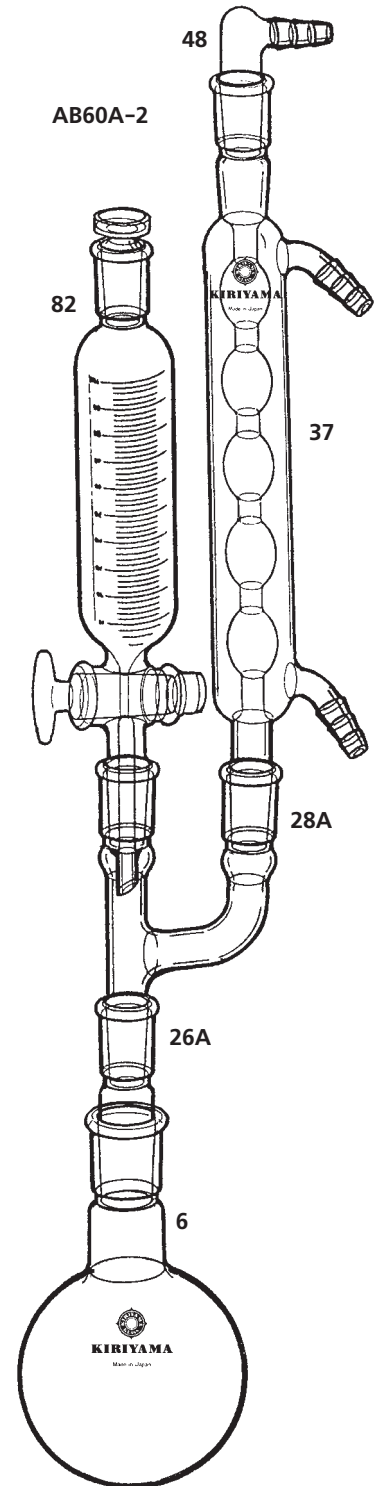
本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。

AB60A-2 反応装置

Joint Size	15/25 · 29/42	19/38 · 29/42	PRICE
Catalogue No.			
AB60A-2-1	500ml		¥51,500
-2	1000ml		¥53,000
-3		1000ml	¥57,000
-4		2000ml	¥62,000



AB60A-1



AB60A-2

AB60A-1 ガス発生装置

Joint Size	19/38 · 29/42	PRICE
Catalogue No.		
AB60A-1-1	500ml	¥51,800

仕様

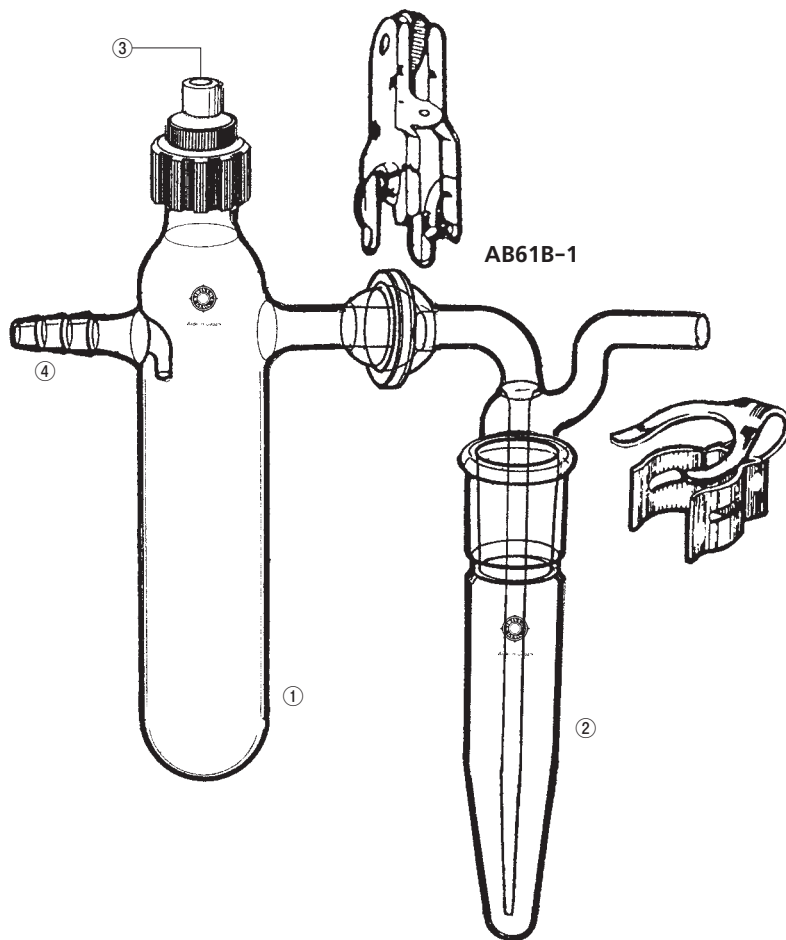
Catalogue No.			AB60-1-1
部品	数	コード	
平底フラスコ	1	7	F7-3-8
枝付アダプター	1	26B	A26-3-4
分液ロート	1	81	FU81-1-5
洗滌ビン	1	77C	W77-4-1

仕様

Catalogue No.			AB60A-2			
部品	数	コード	-1	-2	-3	-4
丸底フラスコ	1	6	F6-2-13	F6-2-14	F6-2-14	F6-2-15
アダプター	1	26B	A26-1-4	A26-1-4	A26-1-6	A26-1-6
Y字管	1	28A	A28-1-2	A28-1-2	A28-1-3	A28-1-3
滴下ロート	1	82	FU82-2-4	FU82-2-4	FU82-2-7	FU82-2-8
冷却器	1	37	C37-1-3	C37-1-4	C37-1-6	C37-1-6
吸引栓	1	48	S48-3-2	S48-3-2	S48-3-3	S48-3-3

これらの反応装置はいずれもガスの発生装置としても使用出来ます。たとえばエチレンガスを発生させるときは滴下ロートにエチルアルコールを、フラスコに濃硫酸を入れ、フラスコを180℃に加熱したところでエチルアルコールをゆっくり加えます。未反応のアルコールや副反応で生じる少量のエチルアルコールなどは冷却器でとりのぞけます。

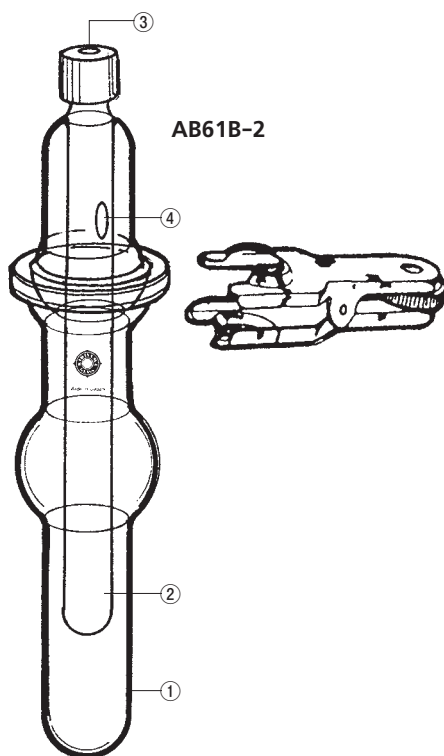
本図中の番号は各部品ごとの掲載頁を示します。



AB61B-1 ジアゾメタン発生装置

MNNG 200mg型	エーテル 容 量	PRICE
Catalogue No.		
AB61B-1-1	5ml	¥36,000

一例として反応容器①へMNNG (N-メチル-N'-ニトロ-N-ニトロソグアニジン) 0.2gと精製水0.5mlを入れ回収容器②にエーテルを5ml入れて装置下部を冷却しておき④に二連球をつけておきます。次に上部セプタム③より注射器で20%水酸化ナトリウム0.6mlを添加します。黄色のガスの発生を見ながら注意して添加して下さい。反応終了後④よりゆるやかにエアレーションを行ない②のエーテルに溶解回収いたします。



AB61B-2 ジアゾメタン発生装置

MNNG 133mg型	エーテル 容 量	PRICE
Catalogue No.		
AB61B-2-1	3ml	¥34,000

少量のジアゾメタンの用時調製用の器具です。①にはエーテル3mlを入れます。②に水0.5mlとMNNG (N-メチル-N'-ニトロ-N-ニトロソグアニジン) 133mgを入れセプタム③を閉じます。図のように組み、クリップで固定したのち、冷水浴に入れます。次に上部セプタム③から注射器で5N、NaOH液0.6mlを添加するとジアゾメタンの反応圧により外管へ浸出し、直ちにエーテルに溶解、黄色液となって回収されます。

ジアゾメタンは黄色無臭の爆発しやすい有毒ガスです。光、熱、その他の刺激によってすぐに分解しますから調製は気をつけて必ずドラフト内で行って下さい。保存は無水エーテル溶液で冷暗所に置きますが用時調製が理想的です。